

災害対策特別委員会

主な活動内容

令和6年元旦、未曾有の大災害が発生しました。

この「令和6年能登半島地震」に際し、本会は日本病院薬剤師会（日病薬）と密に連携し、会員・非会員施設問わず能登地区の病院薬剤部門被災状況の状況収集を開始しました。その後、日病薬災害登録派遣薬剤師制度やボランティア薬剤師制度を活用した県内の病院薬剤部門支援を開始しました。さらに石川県保健医療福祉調整本部内に日病薬現地調整本部が設置され、上記制度による延べ572名、2か月半に渡る医療機関11施設への医療支援活動や現地調整班活動が実施されました。

その後、令和6年度より本会内に本委員会を設置し、災害時の病院薬剤師の役割を明確化し、迅速かつ的確な薬剤師支援活動が展開できる体制づくり等のための活動を行うこととなりました。

今後も、日病薬、行政、石川県薬剤師会等の職能団体や災害関連学会等と連携して委員会活動を充実させるとともに、発災時には迅速に病院薬剤師会としての災害支援活動を開始できるよう努めてまいります。

活動例

- 石川県病院薬剤師会「受援マニュアル」の作成
- 災害対策訓練（Google フォーム入力訓練 等）の実施
- 日本災害医学会の災害薬剤師研修プログラム（PhDLs）を用いた「いしかわ PhDLs」継続的開催による災害薬事に関する人材育成への協力
- 災害登録派遣薬剤師の登録推進

過去の活動実績

2025年1月 第1回 いしかわ PhDLs プロバイダーコース開催

2025年9月 石川県病院薬剤師会災害対策訓練の実施（事務局と連携して実施）

委員の特徴

現在のメンバーは、石川県主催の災害薬事コーディネーター研修や日本災害医学会の災害薬剤師研修プログラム（PhDLs）プロバイダーコースを受講済です。また、石川県内各地区の災害拠点病院やDMAT 指定医療機関所属の日本 DMAT 業務調整員の病院薬剤師で構成されています。（DMAT：Disaster Medical Assistance Team）



震災からの復興や今後の災害対策に関心があり、委員会運営を一緒に行いたい方、ご連絡をお待ちしています。（DMAT 等の災害関連資格の保持の有無は問いません）。

（2025年10月29日）

